



市制施行60周年を迎えて

新年、明けましておめでとうございます。

野田市は、今年、市制施行60周年を迎えます。

当時、ほぼ4万人で発足した市も、現在では約15万7千人の規模となりました。

今後、皆さんとともに安心して暮らせる住みよいふるさとづくりを、進めていきます。

のど

市報

2010年
(平成22年)
NO.1059

1.1

【発行：千葉県野田市役所】 〒278-8550 千葉県野田市鶴奉7番地の1 ☎④7125-1111(代表)

ホームページ：<http://www.city.noda.chiba.jp> 携帯電話用の：<http://www.city.noda.chiba.jp/k/>

【主な内容】市長・議長年頭あいさつ=2・3面/第6回定例会市議会市政一般報告=4~9面/特集・市制施行60周年ふるさと野田を知ろう=10~13面/おしらせ・1月の相談日=16・17面/野田・花だより~表紙のことは・休日当番医=20面



「市民との協働」で 未来への展望を開く年に

野田市長

根本 崇

新年、明けましておめでとございます。本年もよろしく願っています。

本年、野田市は市制施行60周年を迎えます。60年前の昭和25年当時を振り返って見ますと、まだまだ戦争の傷跡は癒えず、まともな食事が出来ないほどの生活の苦しい時代でした。そんな中ではありましたが私たちの先輩の皆様は、新憲法のもと、新しい国を作るのだという意気に燃えて、野田市の歌の歌詞にもありますように、平和のふるさと緑のふるさと野田を目指し、文化を起こし、新しい街を作り、産業を發展させようという気持ちでがんばってきました。貧しいながらも希望に満ちた時代でした。その努力もあって驚くべきスピードで復興し、現在の日本は戦後の貧しさとは比較にならないほどの生活の豊かさ高いサービス水準を実現してきました。その豊かさの中で現在の我々の気持ちはどうでしょう。景気の悪さと先行きの不透

明さの中で覇気を失い萎えてしまっているのではないでしょうか。野田市は今年、人間で言えば還暦の年になるわけです。今の経済状況と比較すると比べようもない厳しい時代を乗り切った先輩の皆様のことを考え、市制60周年を契機に、新しく生まれ変わった気持ちでみんなががんばっていく、今年をそのスタートの年にしていきたいと思っております。

これまでも野田市は、自治会活動、ごみ減量、地域福祉、地域防災、防犯等多くの市民の皆様のをいただき、そのことにより経費の節減を行い、厳しい財政状況の中ですが、福祉等のサービス水準を落さずに、安心安全な便利なまちづくりに取り組んでくることが出来ました。「市民との協働」この言葉を大切にお互いの気持ちを合わせながら、市民みんなでこれまで進めてまいりました施策を継続發展させ、厳しい時代を乗り切り、未来への展望を開いていきたいという決意しております。本年もよろしく願っています。

野田市表彰

市発展に功労のあった 個人・団体に表彰状と感謝状

「第38回野田市表彰式」を1月4日、文化会館で行います。地方自治や消防などの各分野で多年にわたり貢献された個人に表彰状を、また、公共のために温かいご寄附をされた個人・団体に感謝状を、それぞれお贈りします。(順不同)

《地方自治功労》

松本 睦男氏(68)市議会議員として多年にわたり地方自治の発展に尽力

《消防功労》

横張 和雄氏(66)野田市消防団副団長等として多年にわたり地域防災に尽力
石山 操氏(76)野田市消防司令長等として多年にわたり消防業務に尽力

《警察功労》

小川 忠氏(75)警察官として多年にわたり地域犯罪等の解決に尽力

《社会福祉功労》

金剛寺 守氏(63)人権擁護委員として多年にわたり人権擁護活動に尽力
鈴木 みつ子氏(69)民生委員児童委員として多年にわたり社会福祉の向上に尽力
宇佐見 節子氏(68)民生委員児童委員として多年にわたり社会福祉の向上に尽力
岡田病院家族会さくらの友の会様 多年にわたり精神保健福祉事業の推進に尽力

《教育文化功労》

田中 幸一氏(70)小学校長等として多年にわたり教育の振興に尽力
落合 節子氏(73)婦人会会長等として婦人会活動の推進並びに野田市文化団体協議会理事等として文化活動の推進に尽力
下津谷 えい子氏(75)婦人会会長等として婦人会活動の推進並びに野田市文化団体協議会理事等として文化活動の推進に尽力

《保健衛生功労》

あおいそら運動推進委員会様 多年にわたりあおいそら運動の推進を通じて青少年の健全育成に尽力

《保健衛生功労》

岡田 匡生氏(70)学校歯科医として多年にわたり児童の健康保持増進に尽力
永瀬 美哉子氏(70)学校薬剤師として多年にわたり児童生徒の健康保持増進に尽力



野田市議会議長

小倉 妙子

市民に信頼される

議会を目指して

新年、明けましておめでとございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい平成22年の新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、世界的な経済不況が解消されない状況の中、国内においても新卒を含む雇用情勢の悪化に伴う将来的な不安、また、加速する少子高齢化による人口減少に伴い、年金や医療の社会保障制度の存続や労働力の低下が危惧されるなど、社会全体の景気低迷が叫ばれている状況であります。

さらに、国内政治に目を向けますと先の総選挙において、政権交代による新内閣が誕生した激動の年でもありました。

このように国内外の政治・経済・社会情勢が激しく揺れ動き、市民の皆様のご生活にも大きな影響を与えた一年でありました。

こうした中、本市においては、関宿町と合併して、7年目を迎えました。その間、新市建設計画に基づく合併関連事業を

実施するとともに、安全安心なまちづくりの推進、都市基盤・生活関連施設の整備、福祉・医療・教育の充実、さらに、行政改革の推進など長期展望に立ち整備を推進しておりますが、世界的な金融危機の影響などにより、さらに厳しい財政状況の中で市民生活の向上を最優先に努めているところであります。

議会といたしましても、野田市議会活性化等検討委員会において、議会活性化に向けた課題を検討するとともに、議会のあり方や議員の使命、役割など議会に関する基本的事項を検討する、議会基本条例策定特別委員会を設置し、地方分権の時代を迎えた中で、市民に開かれた議会、信頼される議会を目指して鋭意努力をしているところでございます。

本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、市民の皆様のご健勝と限りないご発展を心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

《産業功労》

グリコ千葉アイスクリーム株式会社様 高圧力スの保安に関し、高圧力スによる災害防止のために尽力

《環境衛生功労》

野口 久氏(69)多年にわたり環境行政の推進への協力並びに環境保全に関する普及啓発活動等地域環境保全の推進に尽力

《交通安全功労》

上田 守正氏(68)交通安全対策指導員として多年にわたり事故防止・安全意識の高揚に尽力

飯田 文子氏(68)交通安全対策指導員として多年にわたり事故防止・安全意識の高揚に尽力

坂 操氏(68)交通安全対策指導員として多年にわたり事故防止・安全意識の高揚に尽力

桑崎 フサ氏(68)交通安全対策指導員として多年にわたり事故防止・安全意識の高揚に尽力

川島 みや子氏(66)交通安全対策指導員として多年にわたり事故防止・安全意識の高揚に尽力

秋本 五三三氏(66)交通安全対策指導員として多年にわたり事故防止・安全意識の高揚に尽力

越中 豊男氏(69)交通安全対策指導員として多年にわたり事故防止・安全意識の高揚に尽力

小倉 勇氏(79)交通安全対策指導員として多年にわたり事故防止・安全意識の高揚に尽力

《スポーツ功労》

徳竹 宣文氏(70)野田市ソフトボール協会会長等として多年にわたりスポーツの振興に尽力

朝比奈 尚輝氏(15)JOCジュニアオリンピックカップ2009年度全日本ジュニアレスリング選手権大会男子カデットの部 42kg級 第1位

野田市陸上競技協会様 多年にわたりスポーツの普及振興に尽力

《感謝状》

キッコーマン株式会社様
野田市南部工場連絡協議会様
田中 経郎氏

来春から分かりやすい組織への改編案や

農産物のブランド化計画などを報告

平成21年第6回定例市議会、根本市長は、来春から事務事業も見直し、分かりやすい組織への改編案や、安心とこだわり栽培の農産物をブランド化する計画などを報告しました。本号では、その概要をお知らせします。

国の補正予算に係る 9月補正予算の執行状況

国の第1次補正予算に、財源論を置き去りにし、多額の赤字国債の発行に依存している問題を指摘しつつも、現下の景気状況、雇用の悪化を考えるとさらなる景気対策を講じなくてはならないことから、国の第1次補正予算を財源とした9月補正予算を提案、議決いただきました。

月以降事業着手を予定しました。しかし、9月発足の民主党中心の新政権は、マニフェスト実現の財源確保で21年度第1次補正予算を見直すとし、10月初めには結果が明らかにと報道されましたが、閣議決定までに時間がかり、ようやく10月16日決定されました。執行停止の予算規模は約2・9兆円とされていますが、その詳細はなお不明確のため、市の9月補正予算で計上した事業のうち、国の第1次補正予算を財源とする事業は、当分の間その執行を留保しました。

その後、閣議決定を踏まえ執行停止内容を精査し、子育て応援特別手当事業は執行を停止し、緊急雇用創出事業臨時特例基金事業、子宮がん・乳がん検診推進事業などは、財源が確保できる見通しとなり10月29日に執行留保を解除し事業に着手しました。また、地域活性化・経済危機対策臨時交付金は、国の執行停止の対象とされていませんが、いまだ具体的な通知がありません。地域活性化・公共投資臨時交付金も同様で、さらにその一部890億円が執行停止とされ、事業着手を躊躇せざるを得ない状況でした。

一方で、各事業の工期を考えると国の決定を待つては時機を逸するものもあることから、交付金が執行停止の場合の代替財源の確保と一般財源の負担などを検証し、着手する事業を選択した結果、集中豪雨緊急対策事業の六丁四反水路整備事業は、合併特例債事業で位置付けていることから仮に交付金がなくても財源は特例債でカバーでき、なおかつ工期が渇水時期に限られることを考慮し、10月30日に執行留保を解除しました。

ほかの事業も工期を考慮すると発注期限が迫っていることから、11月19日に執行留保を解除し、防災無線、小中学校等地上デジタルテレビと理科備品の整備をする契約の準備を進め、準備が整い次第、追加議案で提出します。

しかし、小学校耐震補強事業と太陽光発電整備事業は、交付金の交付を前提に前倒しで実施する事業で、9月補正成立後直ちに設計に着手し、工事を22年の夏休みに予定しましたが、いまだ交付金の見通しが立たず、残念ながら従来の計画時期の24年度以降に先送りしました。

引き続き国の動向に注視して各事業の執行を検討し、必要に応じて補正予算で整理する考えです。

本年度の事業方針として申し上げた事項の進捗状況を、市長選挙で公約とした10の政策の柱に沿って申し上げます。

具体的には、基本計画の認定制度が「地方分権改革推進委員会」の第3次勧告の見直しの中に、制度の一部廃止などが含まれる点を懸念しています。

新政権は、国から地方自治体への「義務付け・枠付け」を優先に見直す方針で、この中にも認定制度の一部廃止などが含まれ、仮に廃止となれば、基本計画認定



黒酢を活用した「ちばエコ米」などをブランド化へ

を受ける前提条件のまちづくり会社や中心市街地活性化協議会設立の意味もなくなることから、今後の動向の注視が必要です。

また、国の22年度予算概算要求で、基本計画の認定を前提とする「戦略的中心市街地商業等活性化支援事業補助金」(戦略補助金)の要求額が、前政権の70億円に比べ、41億円と大幅減な点も懸念しています。

さらに、「行政刷新会議」が、概算要求から無駄な事業を洗い出す「事業仕分け」で、「戦略補助金」と「中小商業活性化支援事業・中小商業活力向上施設整備事業」が対象になり、11月26日の「事業仕分け」で、「2割程度の予算要求の縮減」との評決結果とともに、「22年度の実施主体は国とするが23年度以降は、国と地方自治体が協議し、実施主体や予算の渡し方を含め、現場の声が反映できる、政策目標が達成できる仕組みを考えていたきたい」という趣旨のコメントも示されました。

キッチンマン二工場跡地の商業活性化施設の整備は、「戦略補助金」の活用を考えていたもので、事業仕分けの結果を見ても、先行き不透明な状況は変わらず、

認定制度の動向と合わせて注視する必要があると考え、中心市街地活性化基本計画の一番の課題のまちづくり会社設立の検討は、商工会議所や地元商業者などと話し合ったうえ、検討会での作業を一時的に中断としました。

商工会議所を中心に、地元・市内商業者が参加し、7月以降9月まで6回にわたる検討会などは、会社設立の方向で議論が進んだことを踏まえると、関係者の皆さんに大変迷惑を掛けたと考えられています。今後は、関係者と協議、調整のうえ決定する考えです。

◆イトーヨーカドーの再出店

イトーヨーカ堂が「平成25年2月までに、地方の不採算店30店舗程度閉鎖を検討する一方、首都圏に大型店を出店し、収益改善を図る」旨の新聞報道を踏まえ、改めて再出店の強い要望を伝えました。再出店は、中心市街地商業活性化の起爆剤と位置付けられ、周辺住民の根強い要望もあります。今後もイトーヨーカ堂と協議、調整を綿密にする考えです。

いずれにしても、中心市街地の再活性化は、最重要施策の一つに変わりないことから、従前より進めている市街地整備は、引き続き実施したいと考えています。

持続可能な農業施策の確立と食の安全の確保

◆玄米黒酢農法の「ちばエコ米」の生産

化学合成農薬と化学肥料の5割以上削減を基本とする栽培暦を作成し、193名の農家が取り組み、11月30日、県からの連絡で、「185名がちばエコ基準を達成しているが、ちばエコ農産物認証は、県外農家22名を除く163名になること、また、農地・水・環境保全向上対策の営農支援10アール当たり6千円の補助は、ちばエコ基準達成の185名全員が受けることができる」ことになりました。

また、黒酢という健康的なイメージと「ちばエコ米」というこだわり栽培が注目を集め、新聞、テレビなどで大きく取り上げられ、担い手農家からは「縁故米の取引価格が昨年よりもアップしている」と、また、残念ながら今回「ちばエコ農産物」の認証を得られなかった市内農家からは、「来年こそは栽培暦を守り、ちばエコ農産物の認証を得たい」と聞いています。

◆もみ殻牛ふん混合堆肥

3月の販売以来10月末現在で千305トン販売、昨年度回収のもみ殻全体で2千100トンの混合堆肥を生産予定です。今年度のもみ殻回

収は10月末現在654トン、最終的に800トン程度(昨年度668トン)と見込んでいます。

混合堆肥を散布の畑では枝豆、ほうれん草、春菊、キャベツなどを生産し、農家からは、「実入りがよくなった」、「作物が甘くなった」、「塩分は少ないようだ」、「値段が安い」など、生産した野菜も、混合堆肥も高い評価です。



混合堆肥で減化学肥料栽培も

◆農産物のブランド化

11月18日の野田市農産物ブランド化検討委員会で、ブランド化と販売戦略を協議しました。

ブランド化する農産物の認定基準は、安全安心とこだわり栽培の2つの要素を備えることを条件とし、安全安心では、生産履歴を記録し公開することとエコファーマーになることを、こだわり栽培は、野菜は混合堆肥を使用、お米は玄米黒酢農法に

取り組み「ちばエコ農産物」の認証を得ることか江川産米であることを要件とします。

審査、認定は第三者機関を設置し、同機関には野田市ブランド農産物の認定シールの作成、交付を始め、周知・宣伝活動、流通販売事業者との直接取引などを推進する役割を担います。

以上から、同委員会とお米、大豆などの消費拡大に取り組んできた野田市農産物消費拡大推進協議会を統合改編し、(仮)野田市農産物ブランド化推進協議会を設置し、事業に取り組む考えです。

◆ゆめあぐり野田

枝豆のブランド力と女性組合員の加工品販売の好調をバネに、初年度から予想を大きく上回る販売額を記録し、2年度目も年間1億2千万円の販売額が見込まれますが、一方で、イベント開催などの販売促進の取り組みや来客数増加に伴う従業員の増員などで人件費や販売促進費が増加しています。

直売所の指定管理者制度は、利用料金制を採っていないことから、販売額を伸ばしても運営管理費は指定管理料の範囲内で賄う必要があります。オーバー分は運営組合の負担になります。

利用料金制導入の是非を、10月29日の理事会で、協議していただきました。利用料金制は、直売所使用料を運営組合の収入とし、その収入金で組合が直売所の運営管理を行うものです。

市の政策で実施の障害者雇用の人件費をどちらで負担するかなどの課題は今後議論しますが、理事会では利用料金制を導入した方がメリットが大きいのではないかという結論に至り、運営組合は、年内に臨時総会を開き、最終的な判断をしたいということです。

新市建設計画の 確実な実現

◆**まめバス** 4月1日から10月31日までで、延べ20万6千569人、昨年の同時期と比較し、延べで6千36人、約2・8パーセントの減で、昨年来利用者数の伸びが頭打ちで、運賃収入が思うように伸びていません。

多くの方に乗っていただくようPRしてきましたが、収入が見込みより減となったことや、自動車保険料のアップなどで、運行経費がかさみ、昨年度は運行委託料の上限額6千800万円を約148万円上回り、今年度も現状で推移すると、約400万円上回ることを予

想され、加えて、旧型車両は、今年度から新型へ切り替えを進め、4月で旧型7、新型2台、22年4月で旧型2、新型7台に7月には新型9台の予定です。

新型は、燃費が旧型の2分の1程度に落ち、自動車保険料もアップすることから、新型が多くなるほど運行経費がかさみます。

このまま推移すると、大まかな試算で、22年度の委託料が約8千100万円と上限額を約300万円、さらに23年度は約8千300万円と、約千500万円上回る見込です。

運行は、合併で生みだされた財源のうち、年間5千万円（現在は6千800万円）の範囲内で行う前提で開始したのですが、運行経費は6千800万円を上回る状況で、放置すると、なし崩し的に上限がなくなるおそれもあるので、いかに経費を縮減し、利用者増を図るか、方策を講じる必要があります。

以上から、法令の制約や物理的条件を除き、あらゆる視点から見直しをしたいと考えて、このことは、11月20日開催の専門委員会会議で了承をいただいています。

4月末までには対応策を取りまとめる予定です。

◆**第一中学校の耐震補強工事**

工事は、工期限内に完成しました。

また、管理・特別教室棟の耐震補強設計は、現地調査を行い、構造解析・診断解析などの結果を基に補強案の作成をしています。

安全安心な まちづくりの推進

◆**災害時要援護者支援計画**

11月6日現在、計画に沿って取り組んでいる自治会など37団体、うち個別避難支援計画まで整備の団体が27団体、要援護者登録者は238名です。

◆**自主防犯組織**

11月1日現在、125の組織が設立され、組織率は38・3パーセントです。組織の結成が進んだことで、防災資機材などの購入経費の補助金を今国会の補正予算に計上しています。

◆**防犯の取り組み**

16の防犯組合支部組織の設立から3周年を迎えました。10月20日に防犯組合支部、野田警察署と市の合同防犯連絡会議を開き、市内の犯罪発生状況や傾向などの情報提供を含め、全16支部の活動状況などの報告をし、年末一斉防犯パトロールを12月17日から23日の間に支部単位での実施を決定しました。

また、北部安全安心ステーション、通称「北まめばん」は、10月1日に開所式を行い、業務

を開始しました。



開所式ではテーブルカットも

都市基盤・生活関連 施設の整備

花井東地区と船形地区は、花井東地区が10月2日付け、船形地区も11月27日付けの県報に告示され、両地区とも組合解散に向け作業を進めています。

◆**梅郷駅東口市営自転車等駐車場**

11月15日から利用の申込みを受け付け、12月1日4時30分から供用を開始し、申込状況は、11月30日現在、自転車の定期利用一般219台、学生123台の合計342台、原動機付自転車は、定期利用18台です。

福祉・医療の充実

◆**老人デイサービス事業**

介護保険制度導入で、旧措置制度でデイサービスを利用の方のうち、介

護保険対象にならない方が相当数いると予想され、従前のサービス水準維持の観点から、対象でない高齢者を対象に岩木小で老人デイサービス事業を実施しています。

18年度の介護保険制度の改正で地域支援事業が創設され、利用者が減少傾向にあることから、第4期野田市シルバープランに基づき、22年度に同事業を廃止し、介護保険制度に基づくデイサービス事業への転換を予定しています。

現在の利用者に対するサービスは、引き続き提供できるように経過措置を予定しています。

◆**介護老人保健施設整備**

県が募集し2業者の応募があり、県より市に事業者選定と施設整備の意見の依頼があったことから、野田市介護老人保健施設整備に係る事業者選定委員会、医療法人社団葬会を選定し、県に報告しました。事業者は県と22年度整備に向け協議を進めています。

◆**心のバリアフリーの取り組み**

「障害」の「害」の文字のひらがな表記は、22年度から全庁的に実施します。今後具体的な方針を定め、公文書や条例、市報など市の責任で作成のものは「障害」という言葉が単語か熟語で用いられ、前後の文脈から人か

人の状況を表す場合には、ひらがな表記と考えています。

◆国民健康保険事業運営 国民

健康保険税の税率改定は、21年度の改定に際し長期的な見込みが困難なことから、単年度のみ収入不足に対応するとし、2年続けた税率改定もやむを得ないとしていましたが、先の議会で報告のとおり、8月時点で作成の収支見込みで21年度もマイナスに転じ、22年度以降は確実にマイナスの見込みとなりました。

10月30日開催の運営協議会では、現時点での試算で収支差引の見込みが21年度は2億4千400万円、22年度は4億5千万円、23年度は7億2千300万円のマイナスと報告したうえで、21年度のマイナス分を含めた形で22年度の税率改定での対応を前提とした試算で、22年度単年度のみに対応の案、22・23年度の2年度分に対応の案、22から24年度までの3年度分に対応の案、21年度のマイナス分を23年度に先送りし対応の案の4案を提示し、応益割合を50パーセントに上昇させることで軽減に係る県と市の負担の保険基金安定繰入金を増額し、引き上げ額を圧縮する案も提示しました。委員の皆さんからさまざま

意見をいただき、検討の結果、22年度の税率改定は避けられないことを確認いただき、今後2年度分や3年度分に対応した改定案を中心に、具体的な影響などの検討を進めるとされたところです。

12月1日の同協議会で、最新の収納状況を加味した収支見込みを作成したところ、収入不足額が21年度は3億4千400万円、22年度5億3千万円、23年度7億8千800万円と、大きく拡大する状況を報告しました。不足額が拡大することから、前会議で提案した4案に収入不足増を反映したものを再度提案し、それぞれの案モデル世帯の資料も提示し、詳細な検討をお願いしたところです。

教育の充実と 青少年健全育成の強化

先の9月議会でも答弁しましたが、過日発表された全国学力・学習状況調査の結果、野田市の学校の成績が全国に比して極めて低位にあることが判明しました。

47都道府県の平均点に市の平均点を組み入れると、小学校は国語の知識、活用、算数の知識、活用はそれぞれ下から5、9、17、10番目、中学校は国語の知識、活用、数学の知識、活用の順に下から

3、4、3、3番目という結果です。

14年度、学校完全週5日制、学習指導要領の内容3割カットが行われた際、市の子どもたち「結果の平等は求めないが、チャンス」の平等を」と考えて、教育環境改善事業に取り組みました。

少人数授業の展開、市独自の副教本作成、地域の人材活用、サタデースクールでの指導、オープンスタデークラブの開設の5つを柱として子どもたちの学力の向上と土曜日の有意義な過ごし方を目指した事業を展開し、さらに、文部科学省のキャリア実践プロジェクト事業、新教育システム開発プログラム事業などを実施し、先進市として学校支援地域本部を全市内に立ち上げ、学校と地域が一体で教育力の向上に取り組む体制も整えてきました。

しかし、確かな学力を子どもたちに植え付けることに繋がっていない残念な結果になってしまいました。最近、学校で、文化面も運動面も素晴らしい成果が上がってきていることは事実です。元気が一番、少々成績が悪くてもいいではないかという意見があることも事実です。

しかし、義務教育の「読み書きそろばん」の能力が確実なも

のになっていないということも子どもたちにとっても、市の将来にとっても極めて憂うべき事態だと私は考えています。

学校経営をどうすべきかは校長の判断だと思いますが、このような状況です。正確な情報を基に各学校がどう対応すべきか、先生方、保護者の皆さんとよく話し合っていたきたいと思いません。現状のままが良いという結論もあるでしょうし、方針を換える学校もあると思います。

結果にものを申すつもりはありません。私は、首長が教育に口を出すことは厳に差し控えるべきと思っていますが、結果に対しての予算編成権は首長にあり、子どもたちのために必要と思われる予算は付けるつもりです。大切な子どもさんたちのためです。しっかりととした議論を各学校です。しっかりといただきたいと思っています。

◆学校給食検討委員会

昨年10月の委員会設置に当たっては、食料費高騰などで現行の給食費では「安全安心で栄養価を確保した給食の提供」が難しくなってきた状況を、設置の背景として保護者の皆さんに説明しました。

しかし、9月議会総務委員会

寄 附

- ◆教育振興に…▶100万円=田中經郎様(東宝珠花)
- ◆社会福祉施設整備基金に…▶10万円=株式会社日本総合開発代表取締役伊藤巖様(中里)▶11万9千421円=りんどう歌謡学園様(中野台)▶10万円=関宿ライオンズクラブ様(木間ヶ瀬)

と決算審査特別委員会で、学校給食費の不適切な会計処理を報告したとおり、実際には多額の余剰金が発生し、給食費を値上げするような状況ではなかったわけで、保護者の皆さんに、必要のない不安と心配をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

本委員会の設置目的は、給食費改定の検討を直接の目的とするのではなく、安全安心で栄養価を確保した給食をどう提供できるかという視点で議論していただきたいということで、「選択給食制」、「給食の実施回数と弁当持参」、「地産地消」、「未納対策」などに意見をいただいています。

12月19日の委員会で、賄料料費の管理運営を議論いただき、さらに年度内に2回ほど開催し、これまでの意見を取りまとめたいと考えています。

ごみの減量とみどり豊かなまちづくりによる環境の保全

◆新不燃物処理施設建設 建設

予定地の地質調査と測量調査業務が完了し、環境アセス調査は、粉じんや騒音などの現況把握のうち「秋季分」が完了し、引き続き「冬季分」調査を実施します。

契約手続は、高度技術提案型総合評価落札方式における落札者決定基準を策定する際に、市民の意見を反映させるため新不燃物処理施設建設に係わる懇談会を設置し、住民委員を公募で3名、地元自治会の目吹1区、障害者団体の「手をつなぐ親の会」、廃棄物減量等推進員の代表から各1名、学識経験者は「検察庁出身で明治学院大学法科大学院教授の鈴木敏彦弁護士、公共事業の契約問題に詳しい法政大学教授の五十嵐敬喜氏、環境工学専門家の東京理科大学教授の出口浩氏」の3名の計9名で意見を出していただく考えで、懇談会の第1回目を12月3日に開催しました。

新施設稼働までの不燃ごみ仮置場は、西三ヶ尾の再資源化事業協同組合リサイクルセンター敷地を活用したいと考え、経費は今議会に補正予算で計上しています。

◆新清掃工場建設 10月15日に

中里上自治会会長ほか2名の訪問を受け、より具体的な説明をする約束をし、日程調整しています。

◆コウノトリ・トキの野生復帰に向けての取り組み 国の全額補助を受け、広域ブロック自立施策等推進調査の実施は、本業務の中心エリアの江川地区と利根

運河流域の情報や自然環境保護などの専門的知識が豊富な(財)日本生態系協会と10月20日に委託契約を締結しました。

業務内容は、南関東地域で多様な主体が協働・連携し、コウノトリ・トキを指標とした河川と農地などにおける水辺や農村環境の保全・再生方策の実施を通じた、将来のコウノトリ・トキの野生復帰に向けた魅力的な地域づくりのための地域振興・経済活性化方策を検討し、さらにエコロジカル・ネットワーク形成に向け広域連携モデルづくりの検討など、5エリアで3つのワーキンググループを設立し、調査、検討を行うものです。

今後各グループで、対象の5エリアの連携による施策内容、実施手順、役割分担の検討を行い、「仮」南関東地域におけるコウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりを目指して」を取りまとめ、国の

行政改革の徹底

の検討委員会へ提言し、報告書を年度末までにまとめる予定です。

集中改革プランに基づき、22年4月1日付けで組織改編するため、今議会に係る条例案と準備経費の補正予算を計上しています。

組織見直しの内容は、都市計画部と都市整備部を統合し都市部とし、保健福祉部を分割し児童家庭部を新たに設置、教育委員会は、教育総務部を廃止し、教育総務課を生涯学習部の所管とし、併せて教育次長も廃止します。なお、同委員会規則を改正予定です。

課は、総務部の工事検査課を廃止し、同部内に工事検査担当を設置して、管財課の事務を兼務させます。土木部の道路の補修が管理課と土木課にまたがっていたので、管理課に統合して河川排水の事務も管理課で所管します。

また、土木課の道路新設の事務と都市整備部の街路課と新市建設計画事業担当を統合し道路の新設の事務を所管する道路建設課とし、さらに、都市部関係で、区画整理課とまちづくり推進課を統合し、都市整備課とします。保健福祉部より児童家庭課、

人権施策推進課と男女共同参画課を分離し、新設の児童家庭部の所管とし、児童家庭課は、子育て支援、児童虐待と児童手当などを所管する児童家庭課と保育所、こども相談室と児童施設修繕などを所管する保育課に分割します。

組織の見直しに関連し、各課の事務事業の所管も見直し、市民に分かりやすい効率的な組織体制を構築したい考えです。



「子育て支援」を強化する専門部の新設も

◆総務省通知に基づく臨時職員 の任用根拠の明確化など 学童

指導員のうち非常勤一般職として主任的に配置される16年3月以前雇用指導員の選考試験は、課題作文と12月3日実施の面接で行なうとし、公募の競争試験も1月に実施する準備を進めています。

そのほかの非常勤一般職とする主な職種は、臨時保育士、無料職業紹介相談員、こども園生活作業補助職員、特別支援学級介助員など22職種のほか、現在、非常

勤特別職の市税等徴収補助員と夜間休日守衛も、非常勤特別職に求められる専門性、非専務性の面から問題があるため、非常勤一般職に位置付けたいと考え、選考試験などの準備を進めています。

賃金は、削減でなく適法な賃金とすることを基本で改定案を策定し、忌引休暇等付与休暇拡大案と合わせ、組合と交渉中です。

◆指定管理者制度 22年度導入

予定の閑宿斎場は、2者から応募があり、10月13日の選定委員会で、タカラビルメン(株)が選定されたので、今議会に指定の議案と補正予算を提案し、野田市総合公園は、引き続き(財)野田市開発協会を1年間の随意指定とし、選定委員会を経て、22年3月議会に指定の議案を提出したいと考えています。

また、あおい空と清水保育所は、今議会に事前の3か月の現場引き継ぎを実施するための補正予算を計上しています。

◆学童保育所の整備 11か所の

学童保育所を新設し、12か所の学童保育所の過密を解消することとし、学校、教育委員会などの協議を経て、基本的な整備内容が整いました。新設11か所の内訳は、学校の教室利用が8、校内に単独施

設建設が2、校外に単独施設建設が1か所で、整備内容は、12月1日に保護者協議会に説明しました。

新設学童は、社会福祉協議会に委託し、既存の直営学童も保護者会と協議が整った施設から同協議会に委託の考えで、南部と南部第二の過密解消のための南部第三学童は、現在南部第二を運営のNPO法人が設置運営します。

社会福祉協議会では、現在受託の4学童を含め、学童保育所の管理運営体制強化のため、主に管理業務の事務職員の増員配置を理事会で承認し、14の学童保育所を一体的に受託する準備を進めています。

諸般の報告

◆**公契約条例** 9月30日に公布し、10月1日には全国の市と東京23区の805自治体に対し、当市と同様の取り組みをお願いしたい旨の依頼状を送付したところ、全国の自治体から連日のように議員が視察に訪れるなど大きな反響を呼んでいます。当市に続き同条例を制定する第2、第3の自治体をつくるための後押しをするこ

また、規則で定めるとしていた適用労働者の賃金の額は、工事などの請負契約は、2省単価の8割で算出した時給単価とし、業務委託は、技能労務職・用務員などの初任給に地域手当支給率3パーセントを乗じた時給単価(829円)とする旨を規則に規定し、条例の施行期日を22年2月1日とする規則と合わせて、11月17日に公布しました。

◆春風館道場の耐震改修工事

当初は床板、土台などは再利用でしたが、工事を進める中で、想定より損傷していることが判明し、床板の張替え、土台などの交換を主な内容とする補正予算を11月25日の臨時議会で議決いただきました。工期は1か月ほど延びますが、年度内に竣工できる見込みです。

同道場の運営は、野田市剣道連盟春風館支部の有志の皆さんが主体となって、10月14日設立

のNPO法人野田春風会を指定管理者として、選定委員会を経て、22年3月議会に条例案と指定の議案を提案する考えです。なお、開設時期は、当該法人との協議で決定する考えです。

◆新型インフルエンザ

県は11月5日にインフルエンザ警報を発令しました。感染拡大防止の

ため、各学校では学級、学年、学校閉鎖や、校内の行事の見直しを行い、学童保育所でも休業などの対応をとっています。

10月19日には、国の要綱に基づき、医療従事者を対象にワクチン接種が開始され、順次、優先接種者ごとに接種が行われています。

市は、県が設定のスケジュールや接種できる医療機関などを速やかにホームページに掲載するとともに、班回覧で広報し、国

の方針に沿って、優先接種者のうち生活保護世帯と市民税非課税世帯の方に対して実費相当額を助成する措置を講じ、経費は一部を予備費で対応し、さらに臨時議会の補正予算で措置しました。

◆雇用対策

緊急雇用創出事業臨時特例基金事業の積増し分を活用した事業の追加募集は、先の議会で4事業の補正予算議決のとおり実施します。

市独自の緊急雇用対策の「野田市緊急雇用対策奨励金制度」は、4月に入り、離職者1名を雇用した事業主から6月と9月に申請があり、奨励金を交付しています。

◆市制施行60周年記念事業

22年度実施の同事業は、市民提案事業を10月16日まで、シンボルマークとキャッチフレーズは11月

2日まで募集し、市民提案事業33事業、シンボルマーク29件、キャッチフレーズ60件と、多くの方から応募いただき、11月26日の実行委員会で、応募状況などを報告するとともに、事業と作品の審査をお願いし、1月の委員会で決定していただく考えです。



実行委員会では熱心な議論も

◆字入り組み・飛地の解消

「住居の表示の整備方針」は、「字・地番変更方式」追加を10月28日開催の都市計画審議会に諮問し、答申をいただき改正しました。

現在、同方式で整備を検討の三生桜台自治会では、11月29日の臨時総会で全員の同意で議決され、30日付けで字整備の依頼書が提出され、また、隣接する桜台自治会に地区内の飛地を変更することを11月15日に説明会を実施したところ、自治会の区域だけでなく広域で整備すべき、変更の際に郵便物などの混乱が

ないように、いつから実施かなどの意見が出され、自治会と連携し、調整したいと考えています。

◆定額給付金と子育て応援特別手当

10月8日をもって給付を終了し、定額給付金は6万229世帯で98・6パーセント、給付金額は23億3千338万4千円、子育て応援特別手当は支給対象千96世帯すべてに給付済みで、給付金額は7千462万8千円です。

◆個人情報漏えい

9月18日、社会福祉課の職員が持ち出し禁止の生活保護世帯119人分の書類が、帰宅途中盗難に遭い、結果的に個人情報漏えいしました。

該当者には同月23日までに電話か訪問で説明とお詫びを申し上げました。5月の漏えい事件を踏まえ全庁的な再発防止策を講じた矢先に再び不祥事を起こし、関係者を始め市民の皆さんに多大なご迷惑をお掛けしたことを改めてお詫びします。

新たな防止策として、毎日のロッカーの施錠確認リストでのチェックや毎月各課長に課内の個人情報取り扱いと管理の状況をチェックさせ、各部の個人情報管理責任者に報告させるなど、一層の管理の徹底をし、再発防止に取り組んでいきます。



野田市は、今年5月3日に市制施行60周年を迎えますが、市歌と市章は、どなたが作成したのでしょうか？

野田市は、昭和25（1950）年5月3日、野田町と旭村、梅郷村、七福村が合併して県内で8番目の市として誕生し、その後、昭和32（1957）年4月1日に福田村、川間村と、さらに平成15年6月6日には、関宿町と合併し、現在の姿となりました。市制が施行されて今年でちょうど60周年となります。

「野田市歌」は、市制施行の記念として制定されることとなり、歌詞を一般公募したところ、県内から数百通の応募がありました。

審査を経て、香取町（現在の香取市）の香取佳津見さんの作品に決定しました。

香取さんは、郵便局に勤めながら、俳句や短歌などの文芸に親しみ、俳

私たちが住んでいるふるさと野田には、先人たちが築き上げてきた歴史や文化、自然など、多くの自慢できるものがあります。今号では、市制施行60周年を迎える野田の魅力の特集しました。

市制施行
60周年

ふるさと野田を知ろう



古関裕而さんのサインがある市歌の譜面

人・中村草田男さん主宰の「萬緑」の同人に指定されました。作家の吉行淳之介さんや庄野潤三さんなど多くの作家たちとも親交があったそうです。また、作曲を担当した古関裕而さんは音楽史上に残る数々の名曲を生み出した作曲家です。

「長崎の鐘」「オリンピック・マーチ」「栄冠は君に輝く」「高原列車は行く」など、生涯に約5千曲の作品を作りました。

なお、「野田市歌」のCDは、市内の図書館で貸し出しを行っています。

一方、市章は、市歌の歌詞と同様に市制施行を記念して広く公募され、当時、君津地方事務所（現在の南房総県民センター）にお勤



「野田市歌」のCDは市内の図書館で貸し出しも

めだった鈴木日出夫さんの作品が選ばれました。

野田市の「の」を図案化したもので、親睦、融和、団結を意味し、一線基盤のもとに一矢のごとく目的に向かってまい進する姿を表したものです。

鈴木さんは、その後プロのタイポライターとして独立され、「太陽にほえる」や「銭形平次」「鬼平犯科帳」「ウルトラマン」「幸せの黄色いハンカチ」など、テレビや映画でおなじみの数々の作品の題字を手がけられました。

【参考資料】「野田市歌について」相浦秀也（野田市史研究第8号）

舟運と醤油

野田地域・関宿地域ともども昔から舟運で栄えきたと聞きました。どのような歴史があるのでしょうか？

徳川家康が、天正18(1590)年に関東に入ると、江戸幕府は、水害から江戸やその周辺を守ったり、各地の年貢米や物資を江戸に運ぶため、17世紀前期、河川大改修工事に着手しました。

当時、東京湾に注いでいた利根川の流れを東に移し、新たに旧関宿町から金杉(埼玉県松伏町)までの約20キロメートルを開削して、現在の江戸川を造りました。

東北方面からの物資は、銚子から利根川を遡り、また北関東の物資は利根川や鬼怒川などを通して、関宿から江戸川を下るというルートが確立しましたが、幕府は護衛のため、利根川と江戸川の分岐点にある関宿に、水運の要とした川関所を置き、東

海道の箱根に並び

「最重要関所五十三」のひとつとして

水運の発展に伴

い、川関所付近には多くの河岸が誕生し、朝から晩まで多くの高瀬船が停泊し、人々や物資が行き交い、河岸間屋や商店が立ち並んで、大変な賑わいでした。

一方、水運に恵まれていた野田では、18世紀の終わりが、活発に江戸へ醤油を出荷し始めます。江戸川は、大消費地江戸への運搬



樽を出すには川の水量を調節する関所近くには堤防が築かれています。



高瀬船(柏市)が浮上る江戸川初期の昭和の木版画/所蔵=齋藤恒雄さん

醤油の原料の入手にも便利で、大豆は常陸地方、小麦は下総台地や上州・相模など、塩は行徳や、赤穂・十

富士と連山

天気の良い日は、市内から富士山や筑波山などの山々が見えますが、ほかにどんな山が見られますか？

野田市は、関東平野のほぼ真ん中に位置し、特に秋から冬にかけての天気の良い日には、関東平野を取り囲む山々を望むことができます。

玉葉橋やみずきの街、座生と堤台(現在の桜の里とつつみ野)の江戸川スーパードーム上、県立関宿城博物館から望む富士山は、平成16年11月に「関東の富士見100景」のひとつにも選ばれています。ほかにも関宿城博物館の最上



山階からは、万葉集にも詠われた約32キロ先の筑波山が関宿城博物館から提供写真(約75キロ先)。

州など瀬戸内海沿岸で生産されたものが、関西から廻船で運ばれていました。

また、川の水質が醤油づくりに適しており、野田が発展する大きな要因ともなりました。

江戸時代に醤油醸造が始まって以

男体山(約80キロ先)、榛名山(約95キロ先)、浅間山(約120キロ先)なども望むことができます。



市役所からも男体山が見えます。

15年6月6日の旧関宿町との合併で、南北約24キロとなった野田市の北と南からでは、同じ山でも随分違って見えます。なお、関宿城博物館(☎7196-1400)は、月と年末を除く9時から16時30分まで開館し、入館料は200円(高校・大学生100円、中学生以下と65歳以上は無料)です。【アクセス】まめバス「関宿城ルート」関宿城博物館「下車徒歩約1分」朝日バス「関宿城博物館前」下車徒歩約1分

来、野田の町には、あちらこちらに醸造蔵があり、明治後半には全国的にも珍しい「人車鉄道」が敷設され、「川の港」である河岸と路線で結ばれ、醸造所で樽に詰められた醤油は、人力トロッコに積まれ、河岸まで人が押していききました。

将棋名人

十三世名人関根金次郎は、どうして「近代将棋の父」と呼ばれるようになったのでしょうか？

将棋のタイトル戦には「名人戦」をはじめ「王将戦」「王位戦」「棋聖戦」「竜王戦」などがありますが、最も古い歴史と伝統をもつ「名人」という称号は、江戸時代にまでさかのぼります。もともと将棋は幕府の庇護のもと、初代大橋宗桂以来、「家元制度」のもとで世襲制の「名人」が誕生してきましたが、幕府の崩壊とともに家元制度は有名無実のものとなり、十一世名人

伊藤宗印を最後に、明治26（1893）年に家元制度ではなくなりました。東宝珠花出身の関根金次郎は、「全国棋界の統一と実力名人制の制定」を夢に描き、それまで終生就位であった「名人位」を、本当に実力を伴った強いものが名人を名乗ることができた短期実力名人制へ数々の困難を乗り越えながら移行し、名人位三百年の伝統を根底から覆す大改革を行いました。

また、日本将棋連盟の母体となった「将棋大成会」の結成をはじめ、現在の将棋界の基礎を築いたことから「近代将棋の父」と呼ばれるようになりました。

そのほか、東宝珠花からは関根名人の弟子のひとり、戦後の混乱期に将棋界をまとめあげていった渡辺東一名誉会長も輩出しています。

森内俊之永世名人（十八世）と羽生善治永世名人（十九世）は、渡辺名誉会長の孫弟子にあたり、長い将棋の歴史の中でも、実力制以後、同門から二人の永世名人が誕生した例は、ほかにありません。



記念館には名人の将棋盤や駒などが

さらに、「いち



東宝珠花出身の関根金次郎

河川風景

野田の自然を、スポーツで楽しみたいのですが、体育館や公民館などのほか、どこがありますか？

野田市は、三方を河川に囲まれた地形を活かし、スポーツ活動の場としても楽しむことができます。

江戸川、利根川、利根運河の堤防上は、一周60キロ

メートルのサイクリングロード（一部未整備区間あり）として自転車が、河

川ではカヌーに取り組むグループもあります。

また、河川敷の空間を活かしてグライダーやパラグライダーなどのスカイスポーツも人気です。

さらに、堤防上からは、関東平野を取り囲む山々や、四季折々の風景を楽しみながら散歩やジョギング、写真撮影やスケッチなども楽しめます。

特に、お正月は天気が良いと、一層鮮明な風景が野田から見るすることができます。



自然を求めてサイクリングロードには市外からも

60周年 市制施行

ふるさと野田を知ろう

利根運河と泉境

利根運河周辺の自然環境は好きなのですが、行政では自然を守るためにどんな施策を行っていますか？

利根運河は、利根川、江戸川間を結ぶ人工の水路で、明治23(1890)年に完成しました。一時は、一日に100隻を超える舟で賑わっていましたが、昭和に入り、鉄道の発達や道路整備が進んだことに加え、度重なる大洪水で大きな被害を受け、昭和16(1941)年、運河としての役目を終えました。

その後、昭和50(1975)年から、都市用水を流す「野田緊急暫定導水路」へと役目を替え、緑や野鳥、魚類などが生息する自然豊かな河川として、沿川住民に親しまれていました。しかし、平成12年の北千葉導水路事業によってその役目も終えることから、生活雑排水の流入で、豊かな水



貴重な自然を市民や国、近隣市とともに保全

辺環境が悪くなり始めることが予想されたため、11年に市民代表や国・県・沿川3市(野田市・柏市・流山市)が「利根運河環境整備推進協議会」を組織して、利根運河の水辺環境を検討し、環境用水(川の環境を守るために流す水)として利根川の水を流すことが可能となりました。

合わせて市では、利根運河に隣接する江川地区の里山風景を残し、自然と共生する地域づくりを進めようと、宅地開発となるはずだった耕地を農業生産法人を立ち上げ取得したり、斜面林を保全する条例を制定しながら、昔ながらの減農薬の米作りを行う「水田型市民農園」とするなど、ビオトープ化(生物生息空間)を進めています。

こうした利根運河流域の自然や歴史と調和した美しい地域空間を実現する取り組みをしようと、国が主体となり「国土施策創発調査」を実施し、「利根運河エコパーク構想」を取りまとめたり、国や関係各市と協力して、利根運河周辺の自然を中心とした、「利根運河エコパーク」作りのための実施計画も策定し、水質浄化

人生と仕事

最近、市民会館と郷土博物館が「キャリアデザインの拠点」と知ったのですが、どういう意味でしょうか？

市では、昭和31(1956)年に純和風建築の旧茂木佐平治邸宅の寄贈を受け、市民会館(国の登録文化財)として、隣接する郷土博物館とともに、市民の生涯学習の場としても利用していただけてきました。

さらに、全国でも珍しい取り組みとして、平成19年から進めている「キャリアデザインによるまちづくり」の観点から、これまでの利用に加え、市民会館で毎月開催する、自分の仕事の魅力や体験談など、講師が人生観を語る「寺子屋講座」、博物館では市民の研究活動を支援する企画展や人の生き方も含めた展覧会など、市民の人生設計や生き方の参考とし

ていただけているような活動を展開しています。さらに、今春から、現在改修中の武道の殿堂「春風館」が「キャリアデザインの拠点」として新たに加わります。



「つどいの間」には全国の図録も

市民会館・郷土博物館(☎7124-6851)は、**【**火と年末年始を除く9時から17時まで開館。**】**
【アクセス**】**まめバス中・南ルート、茨急バスの「仲町」下車徒歩約5分

や水生生物の生息環境の再生など、利根運河から江川地区に通じるエコロジカル・ネットワーク作りの具体化に向け、検討を進めています。

こうした取り組みを受けて、国や関係自治体では、南関東地域でのコウノトリやトキが住み着ける河川や農村環境などの保全や再生、またコウノトリやトキを自然保護のシンボ

ルとする魅力的な地域づくりを目指し、利根運河周辺をはじめとする、南関東地域の5つの「コウノトリ・トキ野生復帰検討対象エリア」で、調査・検討をはじめました。

利根運河開削から、今年で120周年を迎えます。物資の運搬から、世界が注目する自然保護エリアへと、役目は大きく変わっています。

各種計画の素案に

みなさんのご意見を



市では、よりよいまちづくりを進めるため、市の基本的な方向性を示す計画や条例を策定する際に、事前に案を公表して、市民の皆さんから意見を募集し、施策に反映させる「パブリックコメント手続」を、平成19年4月から試行的に導入しています。

現在、3つの計画の策定作業を進めていますので、皆さんのご意見を募集します。

◆子どもやひとり親家庭を支援

市では、子育て支援の指針として、平成17年に「新エンゼルプラン」を策定し、子育て支援総合コーディネート事業や、訪問型一時保育事業などに取り組んでいます。

同プランは、5年ごとに見直し、22年度から27年度を次期計画期間として、子育て支援のみならず、教育、医療など子どもに関する施策を包括する「子育て支援に関する施策」と「子どもの健全育成」の具体的な後期計画を策定します。

また、厳しい生活環境に置かれているひとり親家庭を支援しようとして、14年11月に「野田市ひとり親家庭支援総合対策プラン」を策定し、市独自の「野田市父子家庭等支援手当」の創設や、就業支援講習会などの自立支援策を実施してきました。

同プランは、社会情勢やひとり親家庭を取り巻く環境の変化に対応するため、新エンゼルプラン（後期計画）にあわせ、見直しを行います。

◆人権教育・啓発の行動計画も

さらに、平成17年度に策定した「人権教育・啓発に関する野田市の行動計画（改訂版）」も、21年度に計画期間が終了することから、新たな計画を策定します。

策定にあたり、19年度の「人権市民意識調査」の結果や、野田市の実態に合わせて見直しを行い、22年度からの5か年を期間とする次期行動計画の策定を進めてきました。

◆皆さんの貴重なご意見を
各計画の素案は、募集期間中、それぞれの担当課窓口や、市役所とそれぞれのホールの行政資料コーナー、各公民館、各図書館、また市のホームページで閲覧でき、意見の募集期間と担当課は、表のとおりです。

提出方法は、任意の書式で直接担当へ持参か（〒・☎・☎を除く）、各閲覧場所に設置の意見投函箱に投函していただくか、郵送（2月4日迄の消印有効）、ファクス（表参照）で、計画名と担当課名、素案に対する意見を明記し、〒278-8550野田市役所へお送りください。

また、市のホームページからも意見をご提出いただけます。なお、いただいた意見の概要や、意見に対する市の考えなどは、個人情報を除いて市のホームページで公表します。

また、市のホームページからも意見をご提出いただけます。なお、いただいた意見の概要や、意見に対する市の考えなどは、個人情報を除いて市のホームページで公表します。

計画名	募集期間	担当課
新エンゼルプラン（後期計画） ひとり親家庭支援総合対策プラン第2次改訂版	1月5日～ 2月4日	児童家庭課 ☎7123・1087
人権教育・啓発に関する野田市の行動計画（改訂版）	1月5日～ 2月4日	人権施策推進課 ☎7123・1074

学童保育所 今春の入所児募集

4月から保育所と学童保育所に、入所を希望する乳幼児と児童の募集を始めます。

いずれも申込用紙の配布と受付は、児童家庭課、閑宿支所、各出張所で、受付は1月5日～から2月10日～までの8時30分から17時15分まで（〒・☎・☎を除く）です。

なお、認可保育所では保育所分の申込用紙の配布・受付と学童保育所分の配布を行い、学童保育所では、学童保育所分の申込用紙の配布のみ行います。

◎保育所 乳幼児の保護者、同居の親族などが、①常に家事以外の仕事をしている方、②妊娠中か出産後間がない方、③疾病

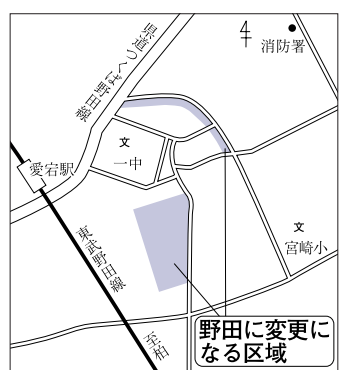
「中野台・堤台」の一部飛地を「野田」に変更

第一中学校の北側と南側の「中野台」と「堤台」の飛地が、本日1月1日～から「野田」に変わり、飛地が解消されます。

同時に、変更区域内に住んでいる方の住所も「野田」（郵便番号278-0037）となりますが、地番は変わりません。

なお、今回の大字変更は、飛地の解消策として実施するものです。

【問合せ】総務課



市制施行60周年を

ともに祝う事業を募集

野田市は、昭和25(1950)年5月3日に市制を施行し、平成15年の関宿町との合併を経て、本年5月3日に市制施行60周年を迎えます。

事業承認後は、事業名に「野田市制施行60周年記念」と付けることや、キャッチフレーズ・シンボルマークを使用することができま

市では、現在、「市制施行60周年記念事業実行委員会」を設置し、皆さんからご応募いただいた「記念事業(市補助金交付)」を選定していますが、この事業とは別に、金銭的な助成を受けず、市制施行60周年を周知するとともに、祝意を表する事業を募集します。

対象は、4月1日困から平成23年3月31日困までに実施する事業で、60周年記念事業として新たに実施するか、従来から同じ内容で実施している事業です。応募は、市民が市内に在学・在学、市内を中心に活動する団体の方が対象で、募集は1月4

日(日)から受け付けますが、必ず開催予定日の2か月前までに、お申込みください。

申込みは、所定の応募申込書(市役所3階秘書広報課、関宿支所、各出張所、各公民館で配布。市ホームページからもダウンロード可)で、〒278-8550野田市役所秘書広報課内「市制施行60周年記念事業実行委員会事務局」へ郵送か、平日の8時30分から17時15分までに同事務局へ持参するか、ファクス(7122-1557)、市ホームページからも応募できます。

【問合せ】秘書広報課内市制施行60周年記念事業実行委員会事務局

1月10日に消防出初式

市内の消防車両が一堂に会して、消防出初式を文化センター駐車場などで行います。

当日は、7時にサイレンと半鐘が鳴りますが、火災と間違えないようご注意ください。

【日時・会場】1月10日(日)9時30分～11時50分、第1部(式典)

は文化会館、第2部(はしご乗りや西武台千葉高校による吹奏楽、消防車両の一斉放水など)は文化センター駐車場

※第1部実施中は、はしご車、



消防団9分団の「一斉放水」も

女流名「大盤解説会」の入場者募集

「第36期ユニバーサル杯女流名人位戦5番勝負第2局」を、1月31日(日)13時から17時(予定)まで、いちいのホール5階の「関根名人記念館」対局室で開催します。そこで、当日行う大盤解説会

の入場希望者を募集します。

大盤解説会は、4階の関宿コミュニティ会館・ホールで行います。13時からは対局の観戦(5分程度)にも参加いただけます。

希望者は、1月18日(日)必着で、往復はがき(1枚で1人入場可)に住所・氏名・年齢・電話番号・返信用のあて先を明記し、〒278-8550野田市役所商工課「大盤解説会」係へ郵送してください。

応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。入場の可否は返信用はがきでお知らせします。

【問合せ】商工課

シリーズ「まめバス」①

今後も「市民の足」として

皆さんのこまめな利用を



平成16年1月に運行を開始したまめバスは、21年12月には利用者が延べ180万人を突破し、「市民の足」として定着しています。昨年来の景気低迷の影響などによる利用者数の大幅な減少や、新型車両への入れ替えによる燃料費の増加

などにより、現行の運行委託料では運行できなくなっています。そのため、現在「コミュニティバス検討専門委員会」で、あらゆる観点から、対策を検討していただいています。

◆買入物 通院にこまめな利用を
まめバスという名称には、「市

民の皆さんにこまめに乗ってもらいたい」という思いも込められています。バスを利用していただくことで、自家用車に比べ、二酸化炭素の削減や交通渋滞の緩和にも役立つかもしれません。

今後も運行を継続していくために、市役所や出張所などの公共施設や駅への移動、日常の買い物や通院などにも、まめバスの利用をお願いします。

【問合せ】企画調整課



熱戦を間近で観戦

おもしろ世

※天候や感染症対策などにより、中止変更となる場合がありますので、事前に主催者へお問い合わせください。

講座・講演会

- ◆ミニ講座 1月20日(木)10時30分～11時30分地域子育て支援センターで。「保育所ってどんなところ？」をテーマに、東部保育所所長による保育内容の説明や園内見学など。先着20人。筆記用具持参。申込みは1月5日(木)から電話で同センター ☎71211-3031へ
- ◆成人パソコン教室 2月2日～9日の(木)10時～正午野田公民館で。全3回。ワードで文書の作成。20歳以上の市民で簡単な文章入力できる方。23人(抽選)。テキスト代500円。申込みは1月18日(木)必着で往復はがき(住所・氏名・年齢・☎を明記) か返信用はがきを持参で〒278-0035 中野台168-1野田公民館 ☎7123-7818へ
- ◆「心のケア」講演会 2月7日(日)13時30分から市役所8階

大会議室で。榎原智子氏(新聞記者)による「親と子のSOS」がテーマ。当日会場受付。手話通訳、要約筆記あり。

託児サービス(2歳～就学前)希望者は事前に児童家庭課へ

◆養育費を考える講演と法律相談会 2月21日(日)13時～16時30分市役所8階大会議室で。講演は須賀昭徳氏(法学部教授)による「養育費相談の現状と傾向」と清田乃り子氏(弁護士)による「養育費に関して役立つ知識」子どもにとって必要な養育費とは。当日会場受付。託児サービスと、15時からの弁護士による個別相談(抽選12人)の希望者は、2月12日(金)までに児童家庭課へ

イベント

- ◆「野田の写真コンクール」写真展 1月7日(木)～14日(金)9時～19時市役所ふれあいギャラリー、15日(土)～21日(木)9時～17時いちいのホール1階で。いずれも初日は13時から、最

終日は14時まで。平成21年の同コンクールの応募作品約90点を展示。園商工課内野田市観光協会事務局

◆1月の保育所園庭開放 保育所の子どもたちと遊び、親子で保育体験。育児相談も。10時～11時。当日会場受付。園各保育所

保育所名	開放日	電話
清水根	12日(木)	☎71222-5050
中根	12日(木)	☎71222-5741
あたご	12日(木)	☎71222-2673
尾崎	13日(金)	☎71229-2009
福田	13日(金)	☎71338-0577
木間ヶ瀬	13日(金)	☎71998-3825
古布内	13日(金)	☎71996-1880
東部	14日(土)	☎71222-7158
花輪	19日(木)	☎71222-1770
南部	21日(土)	☎71224-2221

◆野田市成人式 1月11日(月)10時30分から総合公園体育館で。平成元年4月2日～2年4月1日に生まれた方。当日会場受付。市外に住民登録のある方で出席を希望する方は、事前に社会教育課へ

◆税に関する書道・作文展 1月16日(土)～21日(木)8時30分～19時市役所ふれあいギャラリーで。小学生の書道や作文の優秀作品やパネル展示など。園収税課

◆東葛飾地方小学校家庭科、中学校技術・家庭科作品展 1月15日(金)～17日(日)9時～18時さわやかちば県民プラザ(柏市)で。小中学生が授業などで製作した作品を小学校3点、中学校4点ずつ展示。園指導課

◆凧あげ大会 1月23日(土)10時から関宿ふれあい広場(荒天時は関宿子ども館で「凧」をテーマにした講話)、13時30分からは七光台小学校校庭(雨天中止)、24日(日)10時30分からは野田市スポーツ公園多目的広場(荒天時は1月31日(日))

◆劇団四季ミュージカル「エルコス」の祈り 1月24日(日)15時30分から文化会館で。S席4千500円、A席3千円。前売りは文化会館、櫻のホール3階総合カウンター、ジャスコノア店、ブックスエンドウ川間店・関宿店、いなげや野田みずき店、お茶のあらかき園(坂東市)、シャープ楽器(柏市)で発売中。園文化会館 ☎71244-1555

◆児童虐待相談電話「子どもSOS」 園 ☎9時～17時、時間外、田 ☎9時～17時、園 ☎9時～17時、☎0120-783281

◆母子家庭・婦人相談 母子、父子家庭、寡婦など。園 ☎9時～17時、9時～17時(金は9時～19時)

◆母子自立支援プログラム策定事業 児童扶養手当受給者。個別相談(要予約)、就労のための「自立支援プログラム」の作成。園 ☎9時～17時、園 ☎9時～19時

◆職業相談室(商工課) 市が独自に開拓した求人情報の提供。園 ☎2階 ☎9時～17時、園 ☎4階 ☎3時～17時

◆内職相談 園 ☎2階 ☎9時～15時30分

◆ジョブカフェのだ 問合せ・予約 ☎商工課/会場 ☎野田地域職業訓練センター。個別相談(要予約)、求人案内。35歳未満の方かその親。26日(日)10時～16時。

◆青少年の悩み事相談 年末年始を除く毎日。9時～16時30分(電話相談も可)

◆シニア世代地域参加相談(社会教育課) 園 ☎8時30分～17時15分(予約不要) ②すでに地域参加をし

1月 相談日案内



- ※相談会場 ☎市役所/☎いちいのホール
- ◆市民相談室 ☎71251-1111(代表)
- ◆一般市民相談 日常生活の悩みごとや相続、離婚などの一般的な手続きなど。簡単な相談は電話も可。※一般市民相談や各種相談は、今後の対応方法のための助言などを行うものです。
- ◆1月の法律・不動産・交通事故・行政・税務相談は、1月4日(日)9時から電話で予約を受け付けます。
- ◆法律相談 法律問題で弁護士に相談したいとき。ただし裁判で訴訟、調停中のものは不可。園 ☎8・14・19・27日。☎ ☎28日。6日間で60人
- ◆不動産相談 土地や建物の取引など。園 ☎13日。8人
- ◆交通事故相談 交通事故での示談や自賠責保険など。園 ☎8・22日。☎ ☎20日。3日間で18人
- ◆行政相談 行政の苦情や要望など。☎ ☎13日。園 ☎19日。2日間で8人
- ◆税務相談 相続税・贈与税など。園 ☎15日。8人
- ◆人権施策推進課(市役所内) 人権問題での悩みなど。園 ☎7・18・27日。☎ ☎21日。4日間で16人。電話予約(1月4日(日)9時から)
- ◆児童家庭課 児童の問題など。園 ☎9時～17時
- ◆家庭児童相談室 「子どもSOS」 園 ☎9時～17時
- ◆児童虐待相談電話「子どもSOS」 園 ☎9時～17時。時間外、田 ☎9時～17時、園 ☎9時～17時、☎0120-783281
- ◆母子家庭・婦人相談 母子、父子家庭、寡婦など。園 ☎9時～17時、9時～17時(金は9時～19時)
- ◆母子自立支援プログラム策定事業 児童扶養手当受給者。個別相談(要予約)、就労のための「自立支援プログラム」の作成。園 ☎9時～17時、園 ☎9時～19時
- ◆職業相談室(商工課) 市が独自に開拓した求人情報の提供。園 ☎2階 ☎9時～17時、園 ☎4階 ☎3時～17時
- ◆内職相談 園 ☎2階 ☎9時～15時30分
- ◆ジョブカフェのだ 問合せ・予約 ☎商工課/会場 ☎野田地域職業訓練センター。個別相談(要予約)、求人案内。35歳未満の方かその親。26日(日)10時～16時。
- ◆青少年の悩み事相談 年末年始を除く毎日。9時～16時30分(電話相談も可)
- ◆シニア世代地域参加相談(社会教育課) 園 ☎8時30分～17時15分(予約不要) ②すでに地域参加をし

募集

◆平成22年度学童保育所の臨時職員 ①主任指導員②指導員③指導員代替。任用期間は...

相談・その他

◆農業委員会委員選挙人名簿の登録申請 選挙人資格は、平成22年4月1日以前に生ま...

◆工業統計調査にご協力を 経済産業省で、製造業を営む事業所を対象に毎年12月31日現在で実施...

◆ファミリー・サポート・センター入会説明会 1月13日 10時〜正午総合福祉会館で。育児のサポートをしたい...

◆野田市計画下水道の案の縦覧 1月8日(金)〜22日(金)8時30分〜17時15分下水道課で...

◆水道埋設管の漏水調査 1月初旬〜3月下旬。区域は尾崎、岩名、岩名二丁目、岩名三丁目、春日町、五木、五木新町、谷津、吉春、野田、中野台、中野台鹿島町、上花輪、上花輪新町、清水、堤台、中根、桜台のいずれも地域の一部分。委託業者は(株)コスモリサーチ(調査時は本人確認書類を携行し、市の腕章を着用)。圃水道部 ☎7124-5145

◆小中学校臨時職員の事前登録者 ①少人数授業等講師②特別支援学級支援員③音楽非常勤講師④理科指導助手。①は要教員免許状。②は要中学校音楽の教員免許状。いず...

れも有給休暇あり。通勤手当支給。社会保険加入は勤務時間による。平成22年4月1日以降、欠員分を採用。曜日や時間などの詳細は学校教育課へ

員証」を携行した調査員が調査票の回収に訪問。圃行政管理課 ◆市民課で電子証明書付住民基本台帳カードの発行時間延長 インターネットで確定申告をする際に必要となる同カードの発行は、1月5日(火)〜3月11日(火)の間の(火)・(木)に限り19時まで。圃市民課 ◆野田市計画下水道の案の縦覧 1月8日(金)〜22日(金)8時30分〜17時15分下水道課で(土)・(日)・(祝)を除く。小林住宅団地地区と中里工業団地地区の下水道(汚水)区域追加に伴う変更。期間中意見書の提出可。圃下水道課 ◆ファミリー・サポート・センター入会説明会 1月13日 10時〜正午総合福祉会館で。育児のサポートをしたい...

方と受けた方。申込みは事前野田市ファミリー・サポート・センター ☎7126-5050・☎7126-5051へ ◆食事相談会 1月14日(木)16時〜17時乳児保育所で。管理栄養士がアレルギーや離乳食などに対応。乳幼児のいる方。当日会場受付。圃児童家庭課 ◆水道埋設管の漏水調査 1月初旬〜3月下旬。区域は尾崎、岩名、岩名二丁目、岩名三丁目、春日町、五木、五木新町、谷津、吉春、野田、中野台、中野台鹿島町、上花輪、上花輪新町、清水、堤台、中根、桜台のいずれも地域の一部分。委託業者は(株)コスモリサーチ(調査時は本人確認書類を携行し、市の腕章を着用)。圃水道部 ☎7124-5145

口内乾燥症

唾液の分泌量が減少すると、口内や咽喉頭が乾燥します。程度にもよりますが、口内炎がでやすかったり、食物が飲み込みにくかったり、声枯れや咽喉頭の異物感など、さまざまな症状が出てきます。

シエーグレン病などの膠原病が原因のこともありますが、多くは高齢のために、唾液の分泌量が減ることが原因です。今後、

患者が増えると予想されています。

しかし、特に有効な対処法はなく、唾液の出を良くする薬や、口内にスプレーする「人工唾液」などありますが、副作用などの問題もあり、すべての患者さんに有効ではありません。

いずれにしても、自分の体に合った対処法で工夫してもらうのが一番ですので、困りの方は、早めに医療機関でご相談ください。(Y・Y)

市税などの納期(1月)

2月1日(日)までの納期の市税などは、次のとおりです。

- ①市県民税(普通徴収4期)
②国民健康保険税(7期)
③後期高齢者医療保険料(7期)
④介護保険料(7期)

【問合せ】①は収税課、②③は国保年金課、④は高齢者福祉課

ている方による相談や情報提供。第1〜4(9時〜17時)。電話予約(5日前まで) ◆専門相談 ライフプラン・生きがいなど。第2・4(9時〜16時)。電話予約(3日前まで) ◆〇ばり教育相談 青少年センター ☎7125-8008(9時〜16時) ◆教育相談 学校生活の悩みや不登校など。青少年センター ☎7122-2450(電話・面談・訪問) ◆〇まわり相談 野田幼稚園 ☎7122-2450 関宿南部幼稚園 ☎7198-2075) ◆教育相談 発達・子育てで心配なことなど。野田幼稚園 ☎7124-3939(第2・4(9時〜16時)、関宿南幼稚園 ☎7124-3939) ◆社会福祉協議会 ☎7124-3939(9時〜17時15分) ◆心配ごと相談 日常生活での悩みや困りごとなど。総合福祉会館 ☎7123-1108(13時〜16時) ◆消費生活相談 購入した品物の苦情や問合せ、架空請求・多重債務相談など。圃 ☎10時〜16時 ◆男女共同参画課(市役所内) ◆女性のための相談 圃5階 ☎第1〜4(9時〜16時) 野田公民館(樺のホール3階) ☎第2(9時〜16時) 電話予約(電話相談も可) ◆社会福祉課(市役所内) ◆障害者総合相談・就労支援センター 障害者の相談から就労支援まで 圃1階 ☎圃 ☎8時30分〜17時15分 ◆専門相談 圃1階 ☎13時30分〜16時:生活療育7日、発達教育18日、就労者生活21日、こころの生活(26日)、生活支援28日。電話予約 ◆当事者・関係者相談 圃1階 ☎10時〜正午:視覚障害者(12日)、知的障害者(13日)、ろうあ者(19日) / 13時30分〜15時30分:聴覚障害者(12日)、身体障害者(13日)、精神障害者(19日)。電話予約 ◆あさひ育成園 ☎7122-7159) ◆外来療育相談 就学前の身体発達の遅れなど。第1:3(9時〜17時) 電話予約(圃16時〜17時) ◆こたま学園 ☎7122-2916) ◆外来療育相談 就学前の知的発達の遅れなど。第1:3(9時〜17時) 希望で第2:4(14時〜16時に集団療育) 電話予約(圃16時〜17時) ◆その他の相談 ◆行政書士無料相談 相続手続や法人設立など。22日(金)10時〜14時。樺のホール4階第一集会室。圃千葉県行政書士会東葛支部 ☎7129-11867 ◆登記無料相談 相続登記や土地建物登記など。12日(9時30分〜15時30分) 圃市民相談室。前日までに問合せ先に電話予約。圃野田地区司法書士会、土地家屋調査士会 ☎7128-0061

圃市民相談室。前日までに問合せ先に電話予約。圃野田地区司法書士会、土地家屋調査士会 ☎7128-0061

野田・ふるさとめぐり
清水公園「花ファンタジア」



4月下旬から見ごろのポタン／写真提供＝清水公園

野田の名所のひとつとして、古くから多くの観光客が訪れる清水公園。

明治27(1894)年開設の民設民営の公園で、約28万平方メートルの園内には、桜やつつじなど多くの樹木が植えられ、アスレチックやポニー牧場などの遊戯施設(有料)も備えています。

平成14年には、園内に7万平方メー

四季折々の700種の花

トルの広大な総合花園「花ファンタジア」(有料)も開園し、ポタンやバラ、ラベンダー、コスモスなど、四季折々の700種の花々を、市内外から年間約6万人の方が観賞に訪れています。これからの季節、ロウバイやウメが見ごろを向かえ、温室ガーデン内のレストランやカフェで食事をしながら楽しむことができます。

<問合せ> 清水公園 ☎7125-3030

伝言板

伝言板は、市民などの自主的な活動(会員募集・催し物)の情報コーナー。掲載を希望する方は、秘書広報課広報広聴係までご連絡ください。

※天候や感染症対策などにより、中止変更となる場合がありますので、事前に主催者へお問い合わせください。

講座・教室

◆いきいき健康・太極拳初心者

教室 1月14日～3月4日(2月11日除く)の毎週14時～16時 関宿総合公園体育館で。全7回(1月14日は無料体験)。20歳以上の方。30人(抽選)。参加費3千円。申込みは1月12日必着で電話か往復はがきに住所・氏名(ふりがな)・年齢・☎を明記し、1家

族1通で〒270-0225平井401 関宿総合公園体育館 ☎7198-8500へ

◆インドア・ソフトテニス教室

大会 ①教室：1月16日～2月13日の毎週18時～20時30分 総合公園体育館で。全5回。参加費千円。上履き持参。②大会：1月31日回は2部(初心者・中級者)、2月14日回は1部(上級者)、いずれも9時から総合公園体育館で。ダブルス戦。市内在住、在勤、在学の高校生以上の方。参加費1ペア2千円(高校生千

500円)。申込みは①は1月14日(日)までに、②は1月23日(日)までに岡野 ☎7124-3259へ

◆セキユリテイスタツフ技能講習

習 2月8日(日)～18日(日)9時30分～16時30分 沼南社会福祉センター(粕市)で。全8回。60～65歳の未就職者。20人(抽選)。申込みは1月25日(日)必着で往復はがきに住所・氏名・年齢・☎を明記し、〒260-0013千葉市中央区中央3-9-16(社)千葉県シルバー人材センター連合会 ☎043(227)5112へ

イベント

◆つくしんぼミニコンサート 200

回記念「箏・尺八アンサンブル」 1月8日(金)12時20分～13時 市役

ローマ、ルネサンスと豊かな文化を生んだイタリアの風土や暮らしをみたい、と春夏秋冬の季節を日本と往き来した5年間のスケッチ帳です。なりゆきに逆らわぬ生命の柔軟さを学んだと書いています。



「堀文子 トスカーナのスケッチ帳」 JTBパブリッシング

New Books

興風図書館の推せん図書

興風図書館 ☎7123-7611
南図書館 ☎7125-7981
北図書館 ☎7129-8811
せきやと図書館 ☎7198-4946



「せんろはつづくまどつづく」 竹下文子・文 鈴木まもる・絵 金の星社

線路をどんどんつなげて列車を走らせると…工事中の線路、高い崖、たくさんのお客さんも来ましたよ。さあ、みんななら、どうする?親子で一緒に楽しめる人気の絵本「せんろはつづく」の続編です。

所1階つくしんぼで。「サクラ」や「早春賦」など。当日会場へ。

●園市役所つくしんぼ

◆清水公園探鳥会 1月10日(日)

9時清水公園駅西口集合、正午解散予定。小学生以上(小学生は保護者同伴)。参加費200円。双眼鏡や筆記用具を持参。当日会場受付。岡田中 ☎7123-2813

◆桜将会新春将棋大会 1月11日(日)8時30分～15時 清水正光館

で。初心者から有段者まで12クラスで対局。参加費千円。申込みは前日までに駒崎 ☎7122-14474へ

◆猛ぎんの里江川・三ヶ尾に冬の野鳥を訪ねて 1月11日(日)9

時 運河駅集合、14時解散予定。オ

オタカなどの猛ぎん類や冬鳥の観察。参加費200円。双眼鏡や筆記用具などを持参。当日会場受付。岡小瀬 ☎7153-9955

◆新春音楽会 1月11日(日)14時

から櫻のホール・小ホールで。オペラ「アリア」と合唱。入場料2千円(学生千円)。前売り券の販売と問合せは☎啓心会岡田文化事業団 ☎7124-6151へ

◆ゆう&みい ①育児の日：1

月12日(日)10時～11時30分。②おしゃべり会：1月20日(日)10時30分～11時30分。0歳～3歳の親子。③ゆうみいランド：1月29

日(金)10時30分～正午。育児相談や「ことばによって育てられる大切なもの」と題した講座。0歳

3歳の親子。先着10組。④ちびっこルーム：2月2日(火)～10日(日)10時30分～11時30分。全4回。4月から3年保育入園予定の幼児。先着8人。いずれもゆう&

みいチャイルド館で。費用①②は50円、③は200円、④2千円。①②は当日会場受付。③は1月22日(金)までに、④は事前に(株)ゆう&みい ☎7124-1367へ

◆**賀状展** 1月17日(日)～23日(土)9時～17時(最終日は15時まで)野田公民館ギャラリー(櫻のホール内)で。手作り年賀状を募集。出品希望者(1人5点以内)

は、1月15日(金)必着で、郵送か持参で〒278-0035中野台168-1 櫻のホール2階野田市文化団体協議会事務局へ。1月22日(金)と23日(土)の10時～15時には押し花を使ったがき作り体験(はがき代50円)も。☎井上 ☎7152-2947

◆**野田失語症訓練・相談会** 1月11日(日)13時30分～15時30分中央公民館で。失語症の本人と家族。当日会場受付。☎成瀬 ☎7129-1655

相談・その他

のだこっけいず《新春版》



【問題】マス目の中に言葉を埋め、二重フックの中の文字をAからRの順に並べてひっかけ言葉にしてください。《出題》秘書広報課・参考資料「大辞林」

【タテのカギ】

- ① 今年は何んなのがへるのかな。
- ② ひさし。
- ③ 春夏—冬。
- ④ 電。—日。—辞。
- ⑤ かけたよじなく平等。

① Q			② A	③		④ B	⑤
		⑥ G		O			L
⑦	⑧ I					⑨	J
⑩ K		⑪ D		⑫			
		⑬	M	⑭	E		⑮ C
⑯ H	⑰		⑱ N			⑲	
	⑳	㉑				R	
㉒			P		㉓ F		

- ⑧ 液体をこして混じり物を除きます。
- ⑨ 年上の女のきょうだい。
- ⑩ 11—を送る。—をさげる。—忘れな。
- ⑫ 今年の新年会は5千円です。
- ⑬ 綿を丸めて芯とし、色糸を固く幾重にも巻いたもの。
- ⑭ なめるとしよっぱいす。
- ⑰ 室。—席。
- ⑱ フラストマイナス。
- ⑳ 仕事が終わり—こい。

【ヨコのカギ】

- ① —に小判。
- ② 漢字で書くこと「熨斗」。
- ③ 昆布や煮干、椎茸などを入れて。
- ④ 息を吸ったり吐いたり。
- ⑤ 美術品を展示・販売しています。
- ⑥ 植物中の渋みやに



がみなどの原因となる成分。⑩わが家の手作りです。⑫除夜の—。⑬決まっいて変わらないこと。⑭一年のうち降水量の多い時期。⑮新幹線の生みの親といわれています。⑯プロのレッスンですいぶん伸びました。⑰11月23日は—感謝の日。⑱もごととなる費用。

【応募方法】官製はがきに1月15日(金)必着で、答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、市報でよく読む記事や意見などを明記して、〒278-8550野田市役所秘書広報課「パスル」係へ。正解者の中から、のだこっけいずのイラスト入り「図書カード」(写真と複製「色紙」をセットにして、抽選で10人にプレゼントします。正解と当選者は、2月1日(日)まで発表します。なお、当選者の方は、氏名を紙面に公表いたしませんので、あらかじめご了承ください。

NHK「きみまるフルコース ごきげん歌謡笑劇団」
1月8日(日)21時から衛星放送で放映



番組ではさかなクンが野田をレポートしました。市とNHK千葉放送局の共催で、21年12月8日に文化会館で録画した「きみまるフルコース ごきげん歌謡笑劇団」を、1月8日(日)21時(予定)から、衛星第2で放映します。出演は綾小路きみまろ、早乙女太一、さかなクン、ゲストは細川たかし、川中美幸、原口あきまさ、山本みゆきです。「野田」を舞台に醤油をテーマにした芝居や、クイズを交えた現在の野田の紹介など、ゲストとともに楽しく番組が進行します。【問合せ】文化会館 ☎7124-1555、NHK千葉放送局 ☎043(227)7311

◆**千葉県民ハイキング** 1月24日(日)5時15分キックマン駐車場集合、19時帰着予定。南房総国立公園内の御殿山などで約3時間のハイキング。希望者は1

◆**下総利根大橋有料道路20周年記念キャンペーン** 1月11日(日)～17日(日)、2月11日(日)～17日(日)、3月11日(日)～17日(日)の有料道路利用者に抽選券を配布。毎月抽選を行い、当選者にはクオカードを進呈。☎茨城県道路公社 ☎029(301)1131

©のだこっけいず当選者：12月1日号の正解は「防犯パトロール」でした。43人の正解者の中から抽選の結果、当選者は大久保まさ子様、大越智明様、東風谷恵子様、末廣彩咲様、横田三枝子様(五十音順)です。



干支の3番目の虎(寅)は、インドネシアや中国、ロシアなどに生息するネコ科の動物です。

■市内の寅年生まれ(12月1日現在)

	計(人)	男(人)	女(人)
大正3年	79	20	59
大正15年	738	266	472
昭和13年	1,626	829	797
昭和25年	2,878	1,428	1,450
昭和37年	1,658	852	806
昭和49年	2,404	1,258	1,146
昭和61年	1,747	910	837
平成10年	1,493	753	740
総計	12,623	6,316	6,307



自然豊かな野田には、四季を通じて実にさまざまな花が咲きます。今号の表紙で、その一部をご紹介します。①は利根川の堤防

上に咲くからし菜で、②はつつじまつり開催中の清水公園です。つつじは「市の花」です。③は、関宿に

桜で、④は、中之島公園のこぶしで、関東最大級といわれています。⑤は関宿博物館と満開の桜で、

「中央の杜」に咲くヤマユリです。 ※花は、多くの人たちの心を和ませようと一生懸命咲いています。温かく見守って、楽しんでください。

虎は、昔から四字熟語やことわざなどでも、強いものや恐ろしいものたどえによく使われてきました。じつと機会を狙っているさまを意味する「虎視眈眈」は、虎が獲物を狙って鋭い目でじつと見下ろす姿からきています。 一方で、子どもをととても大事に守り育てるそうです。「虎の子」という言葉も、大切にして手放さないことを意味します。



イラスト=稲葉多太司さん(清水)

わが子を大切に育てる虎のように、みんなで仲良く、健康に過ごしたいものです。

1月の休日当番医

休日当番医での診療時間
 外科・産婦人科 = 9時から22時まで (ただし16時から19時までは除く)
 内科 = 9時から16時まで (19時から22時までは急病センターで行います)

日(曜日)	外科	内科	産婦人科
1日(金)	門倉医院(☎7124-5311)	岡田小児科医院(☎7122-2519)	アイレディースクリニック(☎7137-7661)
2日(土)	山崎外科内科(☎7122-2359)	東葛飾病院(☎7196-1166)	遠藤産婦人科医院(☎7124-7860)
3日(日)	西村クリニック(☎7123-0050)	関宿中央医院(☎7198-5108)	杉崎クリニック(☎7125-1070)
10日(日)	野田中央病院(☎7122-6161)	石井医院(☎7122-2434)	小張総合病院(☎7124-6666)
11日(月)	東葛クリニック野田(☎7124-3101)	鈴木医院(☎7124-5683)	アイレディースクリニック(☎7137-7661)
17日(日)	須藤整形外科(☎7122-1221)	野田病院(☎7127-3200)	遠藤産婦人科医院(☎7124-7860)
24日(日)	キッコーマン総合病院(☎7123-5911)	花井クリニック(☎7123-3900)	杉崎クリニック(☎7125-1070)
31日(日)	梅郷整形外科クリニック(☎7125-2011)	たんぼほこどもクリニック(☎7126-8118)	川間太田産婦人科医院(☎7127-1135)

※休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド(☎7124-7272:コード6101)、または野田市ホームページ(<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html>)で確認をしてください。

急病センター

☎7125-1188

▼内科(小児科) = 19時から22時まで(毎日)
 ▼歯科診療 = 9時から正午まで(休日)

新年明けましておめでとうございます。今年、野田市は60歳の誕生日を迎えるにあたり、本号では「ふるさと野田の魅力」を紹介する特集を掲載しています。市も「遷暦」を迎えて、新たなスタートをきるのにあわせ、自分も気持ち新たに、皆さんに喜んでもらえる市報づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

編集後記

市の木



けやき

市の花



つつじ

市の鳥



ひばり